

令和5年度 自己評価・学校関係者報告書

令和6年 4月 1日
亀田幼稚園

1. 本園の教育目標

「自由にのびのび大きく育てたい」
「お友達と協調し元気に仲良く沢山遊べる子」

2. 本年度重点的に取り組む目標

・音楽活動を通しての情操教育 ・書き方教室を通しての学習経験の獲得 ・教職員の教育意識向上
・コロナ後の園行事の拡充 ・防災防犯対策の意識向上設備拡充

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(評価 A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・改善すべきである)

	評価項目	評価	取り組み状況
1	・音楽活動を通しての情操教育	A	年度末の音楽ホールでの発表会に向けて、音楽専門講師の指導の下、楽器に触れ、音楽への関心、技術向上を目指し、日々音楽の楽しさを知り、情操教育に繋げた。
2	・年長組、書き方教室を通しての学習経験の獲得	A	書き方専門講師の指導の下、「鉛筆の持ち方。書き順、正しい文字の形」を身につけると共に、学習に取り組む姿勢も育てる事を目標とした。
3	・教職員の教育意識向上	B	それぞれ専門講師により、指導法を研修したり、研修会に参加し、教育や子育て支援の意識と知識向上に努め、獲得出来た事を、保育に活かせるよう努力した。
4	・コロナ後の園行事の拡充	A	運動会・お遊戯会・音楽会等、大きな園行事のいろいろな規制を止め、保護者を増やしたり競技を増やしたりと、子ども達も含め、全体が団結するように務めた。
5	・防災、防犯対策の意識向上、設備拡充	A	防災訓練の回数を増やし、防災への意識向上を図り、消防署・警察署の方を招き、より専門的な訓練指導を受ける事が出来た。

4. 総合的な評価結果

(評価 A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・改善すべきである)

評価	理由
A	上記1～3の重点的な目標を踏まえ、これまで積み重ねてきた教育を子ども達が更に成長へ繋がるように努める事が実感できた。 またコロナ制限の解除と共に、園行事を保護者参加型にシフトすることが出来て、園全体が一つの行事に取り組めるようになり、子ども達もその分刺激を受ける事ができたので、能力向上に繋げる事が出来た。 昨今、頻繁に起きる災害や事件事故に対する専門的な意識向上・技術向上に、職員のみならず子ども達も取り組む事が出来た。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育者の資質向上	教育は常に向上心を持って取り組まなければならない意識をもち、研修等、これからも積極的に参加する
2	環境	危険な箇所等が無いかな総点検をするとともに、安全に過ごせる環境設定をする
3	安全管理	緊急事態や怪我・熱中症等の危機に対して、危機管理マニュアル含め、ヒヤリハットを防ぐように再確認や改善に努める

6. 学校関係者評価委員会の評価

コロナ禍の為、制限や変更等で規模縮小だった各行事、安全対策の意識はありつつも完全にコロナ前の亀田幼稚園らしく、保護者も幼稚園に参加できる行事になり、子ども達の様子や頑張っている姿を見られるようになりました。
更に運動会では、親が沢山競技に参加できた事によって、親同士クラスの繋がりが出来て、その分幼稚園との関係性も更によくなりました。
また登園中に実際に地震が起きた時偶然、実際に子ども達が素早く避難している姿を見て、訓練の賜物を感じ、安心感を得る事が出来ました。